


番号	14	対象地名	おやしきの湧水
所在地	富士市今泉5丁目		
種別	水場		
湧水分類	今泉湧水群		
水質	水温 14.6℃ 電気伝導度 16.70mS/m (湧水マップ調査)		
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いまいづみ幼稚園の駐車場の脇にある湧水の水場であり、「おやしきの湧水」と呼ばれている。</li> <li>・ 湧水量が豊富で、水管を通り田宿川へ注いでいる。</li> <li>・ 敷地には花壇やベンチが設置され、地域で親しまれている様子が伺える。</li> </ul>		
周辺状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 敷地の東面はいまいづみ幼稚園の園内、南面は駐車場に接している。</li> <li>・ 周辺は、住宅、商店、事業所などが混在し、南に田宿川が流れている。また、西にはまちの駅である法雲寺（わきみず寺）があり、寺の水汲み場には、多くの人が訪れている。</li> </ul>		
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>■利用</li> <li>【利用】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夏季には子どもたちが水遊びをする。</li> </ul> </li> <li>【地域の活動】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 洗濯や野菜の洗い場に利用されている。</li> </ul> </li> <li>■地域の活動</li> <li>【水辺の植物】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内で維持管理しており、近所の人々が藻を刈る作業を行っている。</li> </ul> </li> <li>■水辺の植物 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 梅花藻</li> </ul> </li> </ul>		



おやしきの湧水（湧水源）




手作りのベンチと花壇



水場でタオルを洗う人



水神様

番号	15	対象地名	田宿川（たじゅくがわ）
所在地	富士市今泉		
種別	一級河川		
湧水分類	今泉湧水群		
水質	水温 15.1℃ 電気伝導度 163.3 μS/cm PH7.2 (富士常葉大学水文環境室調査)		
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>本対象地は、一級河川である田宿川の松原川合流部にある、川原下橋から学校橋までである。</li> <li>当該区画の河川水は周辺の今泉湧水群から流れており、豊富で透明度の高い湧水と水中で揺らめく梅花藻の、美しい清流景観を楽しむ事が出来る。</li> <li>田宿橋から川原下橋まで、川沿いに遊歩道が整備され、中間地点に親水護岸が整備されており、散策や夏季の水遊び等に利用されている。</li> </ul>		
周辺状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>田宿川沿いは、公園、住宅、店舗、事業所、大規模な工場や駐車場などが混在している。</li> <li>近隣には、北にいまいづみ幼稚園やまちの駅わきみず寺（法雲寺）、まちづくりセンターがあり、南に今泉小学校がある。</li> </ul>		
歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>明治 20～30 年代にかけて今泉ガマ（湧水地帯）を中心に相次いで手すき和紙工場が設立され、富士市の製紙産業の基盤となった。</li> <li>工場の地下水使用と排水により、田宿川は水質悪化の一途を辿った。その後、地下水利用の抑制と岳南排水路の建設、地域住民の清掃活動により美しさを取り戻した。</li> <li>昔は、田子の浦から嫁入り船が上ったという。</li> </ul>		
その他	<p>■地域の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民による河川愛護活動が盛んで、わき水田宿川委員会により年 6 回以上清掃活動が行われている。</li> <li>大雨時の床上浸水を防ぐため、川藻の除去や、ごみ拾いなどの清掃活動を行うことにより、水量を適切に保っている。</li> <li>清掃活動には、地元の小中学生をはじめとして地区外からも多くの清掃ボランティアが参加し、年間延べ 1,000 名以上の人達が参加する活動となっている。</li> </ul> <p>■祭り・イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎年 7 月下旬に「たらい流し川祭り」を開催している。今泉小学校の生徒たちは、4 年生になると全員が「たらい流し競争」に参加し、年間を通じて川を舞台にした環境学習を行っている。</li> <li>毎年 6 月に地元企業主催で、いまいづみ幼稚園の園児による鮎の稚魚の放流イベントを実施している。</li> </ul>		
【地域の活動】			
【水辺の動植物】			

## ■水辺の動植物

### 【水生植物】

バイカモ、ヒメミクリベ、エビモ、コカナダモ、ヤナギモ、ホザキノフサモ、カワゴケ、ミズハコ

### 【水生昆虫・生物】

プラナリア、サワガニ、ヒラタカゲロウ、コカゲロウ、ニンギョウトビケラ、ヒゲナガカワトビケラ、ヤゴ、カワニナ、ヒル、イシマキガイ、ヨコエビ、コダカシマトビケラ、イトミミズ、ミズムシ、セスジユスリカ、アメリカザリガニ

### 【水辺の動物】

カモ、カワセミ、ゴイサギ、セグロセキレイ



親水護岸で水遊びをする親子




清流に揺れる梅花藻



田宿川沿いの遊歩道と公園



田宿川と地藏橋

番号	16	対象地名	法雲寺
所在地	富士市今泉 5-6-48		
種別	寺社		
湧水分類	今泉湧水群		
水質	水温 14.3℃ 電気伝導度 14.10mS/m (湧水マップ調査) PH6.9 (法雲寺 HP)		
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 寺の敷地内や外周の水路などから水が湧き出ている。</li> <li>・ 駐車場の一角に水汲み場があり、日常的に多くの人々が利用している。</li> <li>・ 水汲み場のそばにある看板には、水質検査結果の成分表が表示されている。</li> <li>・ 法雲寺は「わきみず寺」と呼ばれ、まちの駅に認定されている。</li> </ul>		
周辺状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 周辺は、概ね低層住宅地であり、事業所や商業店舗が介在している。</li> <li>・ 近隣は、西に今泉まちづくりセンターや中央図書館（今泉分室）があり、東にいまいづみ幼稚園がある。</li> <li>・ 県道 22 号線の南側には田宿川が流れている。</li> </ul>		
歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法雲寺の創建は、室町時代初期の文和 2 年 (1353) 鎌倉 建長寺の僧である用堂和尚<small>ようどうおしょう</small>がこの地を訪れた際、岩石が重畳し、清水が湧き、希に見る素晴らしい景観であったことに魅せられて寺を建て、法雲寺と称したとされている。その後、戦国大名の今川家、後には徳川家の庇護を受けたとされる。</li> <li>・ 富士山麓の大淵村に次郎長開墾の大事業に奔走尽力した、清水次郎長一家 28 人衆の 1 人、辻<small>つじ</small>の勝五郎<small>かつごろう</small>の供養がされている。</li> </ul>		
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 水辺の動植物           <ul style="list-style-type: none"> <li>【水生植物】</li> <li>・ バイカモ</li> <li>【水中生物】</li> <li>・ メダカ、ホタル</li> </ul> </li> <li>■ 祭り・イベント           <ul style="list-style-type: none"> <li>【湧水の活用】</li> <li>・ 5 月下旬には本堂にてホタル観賞を絡めたコンサートが開催されている。</li> <li>・ お盆には灯籠流しが行われる。</li> </ul> </li> <li>■ 湧水の活用           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 周辺の商店では、法雲寺の水で米を炊くなどの利用もある。</li> </ul> </li> </ul>		



① 法雲寺 (湧水源)



② 法雲寺・西側(湧水源)



③ 法雲寺・北 (湧水源)



水汲みの様子




水場と水汲み場



東側水路



番号	17	対象地名	(仮称) 今泉湧水広場
所在地	富士市今泉7丁目		
種別	空き地		
湧水分類	今泉湧水群		
水質	水温 14.3℃ 電気伝導度 14.30mS/m (湧水マップ調査)		
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>本対象地は今泉まちづくりセンター、中央図書館（今泉分室）下に隣接した空き地である。敷地の南面は田宿川に接している。</li> <li>北側、既存林崖下の線上に繋がる湧水源は水量が豊富である。</li> <li>敷地への入り口には、レトロなコンクリート橋がかかっている。</li> </ul>		
周辺状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺は住宅と小規模な工場、事業所が混在しており、湧水を利用した製麺所や製紙工場がある。</li> <li>隣接する荒川製麺（昭和6年創業）は、この水を利用して製麺業が営まれている。</li> <li>中央図書館（今泉分室）、まちづくりセンターなどの公共施設が隣接している。</li> </ul>		
歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺にはかつて「ガマ池」と呼ばれる湧水池が多く存在した。</li> <li>明治20年（1887）、芦川万次郎が、今泉の湧水地帯（通称ガマ）に手すき和紙工場を設立すると、明治30年代までに今泉ガマを中心に相次いで手すき和紙工場が設立され、富士市の製紙産業の基盤となった。</li> </ul>		





(仮称) 今泉広場 (湧水源)




隣地 (荒川製麺) 境にある水路



入口のレトロなコンクリート橋



西側水路

番号	18	対象地名	(仮称) 水辺の遊歩道
所在地	富士市今泉		
種別	一級河川		
湧水分類	今泉湧水群		
水質	水温 14.7℃ 電気伝導度 17.30mS/m (湧水マップ調査)		
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本対象地は、一級河川である田宿川の上流、今泉まちづくりセンター下の学校橋からセギワクまでの区間である。</li> <li>・水場や擁壁から水が湧いている様子が見られる。また、一部の区間は、道路が水路に張り出し、特徴ある水辺空間が形成されている。その水路越しに富士山を見ることができる。</li> </ul>		
周辺状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺は、住宅や小規模の事業所が混在している。</li> <li>・学校橋の北側に今泉まちづくりセンターがある。</li> <li>・田宿川沿いには中央図書館（今泉分室）や（仮称）今泉湧水広場、荒川製麺所、製紙工場、J A 富士市今泉などがある。</li> </ul>		
歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今泉村田地の用水不足を解消するために、今泉村名主・中村三郎右衛門が村民の協力を得て、本国寺の南から和田川の水を分水する用水路を完成させた。文政9年（1826）に掘削工事が行われ、180日の歳月をかけて完成した。（通称：今泉用水路）</li> <li>・その記念に豊水碑が中村家に建立され、セギワクの傍らには中村翁之碑が建立されている。セギワクの地名は、三郎右衛門が考案した技術で、ここで堰<small>せきわく</small>が構築され用水路の取水調整が行われたことに由来している。</li> </ul>		
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>■利用</li> <li>【利用】           <ul style="list-style-type: none"> <li>・水場で、近所の人々が洗濯をする様子が見られる。</li> <li>・子供が田宿川で魚取りをする様子が見られる。</li> </ul> </li> <li>【水辺の植物】           <ul style="list-style-type: none"> <li>■水辺の動植物</li> <li>・カヤツリグサ</li> <li>・カモ</li> </ul> </li> </ul>		



① 学校橋 (湧水源)



② 荒川製麺 (湧水源)



③ 擁壁 (湧水源)



④ 山蒸製紙所北側水場 (湧水源)



⑤ 擁壁のまわり(湧水源)



擁壁から流れる湧水



富士山の眺望



せぎわく (中村翁之碑)